

「LGBTQ+」(読み:えるじーびーていーきゅーぶらす) から 「SOGIE」(読み:そじー) という考え方へ

「SOGIE」とは

「SOGI」とは、Sexual Orientation (性的指向)、Gender Identity (性自認)、の頭文字をとった総称です。

2006 (平成 18 年) 以降、国際連合の諸機関で広く用いられている概念です。

2016 (平成 28) 年の文部科学省が出した文書の中でもこの表現について記されています。

現在は、Gender Expression (性表現) を加え、「SOGIE」という総称が広がってきています。

性的指向とは…「好きになる性」と呼ばれることがある。人の恋愛、性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念。

性自認とは…「心の性」と呼ばれることもある。自分の性をどのように認識しているのか、どのような性のアイデンティティ (性同一性) を自分の感覚としてもっているかを示す概念。

性表現とは…「見た目の性」と呼ばれることもある。服装などの身に付けているものや仕草、言葉づかいなどを示す概念。

SOGIE は「自分ゴト・誰もが当事者」

LGBTQ+は「どんな人」であるかを表すのに対して、SOGIEは「性の要素そのもの」を表しているという違いがあります。

「SOGIE」は好きになる性 (性的指向) や心の性 (性自認)、性表現という誰にでもある構成要素に着目することで、自分には関係のない話ではなく、誰もが当事者 (自分自身の問題) と捉えやすくなり、性の多様性を認め合うことにおいて重要な概念と言えます。

性のあり方を「自分とは違う人達のこと」と一部の人の問題にするだけでなく、「自分の生き方を考える」姿勢で多くの人々が性的指向や性自認、性表現の多様性について正しく理解し、互いに認め合うことができるようになることが重要です。

日本ではまだ馴染みがありませんが、既に国連の正式文書では「LGBT」ではなく、「SOGI」が用いられており、2011年の国連人事理事会における「SOGIに関する人権決議」では、日本も賛同国に入っています。

L	Lesbian レズビアン	心の性が女性で恋愛対象も女性。女性同性愛者。
G	Gay ゲイ	心の性が男性で恋愛対象も男性。男性同性愛者。
B	Bisexual バイセクシュアル	恋愛対象が女性にも男性にも向いている人。
T	Transgender トランスジェンダー	性自認（心の性）と身体の性が一致していないため、身体の性に違和感を持つ人。
Q	Questioning クエスチョニング	クエスチョニング：自分の性のあり方について「わからない」「迷っている」「決めたくない」など。
+	プラス	最後に「+」がついているのは、性はとても多様であり、上記以外にもたくさんの性のあり方があることから、包括的な意味合も持たせるため。

SO	Sexual Orientation セクシュアル・オリエンテーション	性的指向。好きになる人の性。
GI	Gender Identity ジェンダー・アイデンティティ	自分がどの性別かという認識。
GE	Gender Expression ジェンダー・エクスプレッション	性表現。服装や髪型、一人称性別についての表現。